

相手を意識して自分たちの考えを伝えよう

なまえ： \_\_\_\_\_

1.考えてみよう いつ、どこで、誰に、どんなことを伝えますか？

いつ		どこで	
誰に		どんなこと	

2.考えてみよう 相手にうまく伝わるように考えよう。

相手の人数	
相手の目的	
相手がすでに知っていること	
相手にどんな気持ちになってもらいたいか	
発表に使う資料や道具	

## ! スキルのポイント

### 相手にうまく伝えるには？

#### 人数

人数に合わせて、相手とのやり取りの仕方や、資料の見せ方を工夫します。

#### 目的

相手が新しいことを知りたい、アイデアを聞いてアドバイスしたいなど、相手の目的によって、話の順番や資料を工夫します。

#### 知識

相手が知っていそうな説明は省略します。自分たちで考えた言葉や新しい情報は、声と文字で詳しく伝えます。

#### 気持ち

相手に喜んでほしい、問題を共感してほしいなど、相手にどんな気持ちになってほしいかを考えて、話し方や提示する資料を工夫します。

#### 資料や道具

相手が見やすいかどうか、文字や写真の大きさ、色づかいなど、実際の発表に使う道具や環境のもとで工夫します。

3. 考えてみよう 相手を意識してどんな工夫ができそうか、<sup>かじょう</sup>箇条書きにしよう。



情報活用能力としてのねらい	活用できる教科や学習活動
<p><b>B6：受け手の意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を意識して伝え方を工夫する</li> <li>・相手の反応を見て伝え方や内容を工夫する</li> </ul>	<p>5年 社会「自然災害を防ぐ」</p> <p>※他教科でも相手を意識して発信するときに活用可能。 「〇〇に対して、自分たちの考えを伝えよう！」</p>

## 5年 社会「地域の人たちに防災対策について提案しよう」

学習活動	準備物・留意点等
<p><b>振り返ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学習したことから、防災のために学んできたことを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県や市で行われている自然災害への対策について振り返らせる。</li> <li>・国の取り組み（公助）と地域の人などと協力する取り組み（共助）の視点から振り返らせる。</li> <li>・振り返り程度なので短い時間で終わらせる。</li> </ul>
<p><b>1. やってみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いつ、どこで、誰に、どんなことを伝えますか？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で取り組む防災対策についてイメージさせ、町内会長さんたちに提案することを確認する。</li> <li>・全体で町内会の数や集会所などを確認し、ワークシートに記入させる。</li> </ul>
<p><b>2. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手にうまく伝わるように考えてみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究する計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの提案を相手にうまく伝えるために考えることを意識させる。</li> <li>・スキルのポイントを見ながら考えさせるとイメージしやすい。</li> <li>・グループで話し合った後、学級全体で共有してポイントを確認する。</li> </ul>
<p><b>3. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手を意識してどんな工夫ができそうか、箇条書きにしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2を基に、説明の内容や順番、使用する資料などについて箇条書きさせ、提案する準備に活用できるようにする。</li> </ul>

- ・地域で取り組む防災対策についてイメージさせ、町内会長さんたちに提案することを確認する。
- ・全体で町内会の数や集会所などを確認し、ワークシートに記入させる。

- ・自分たちの提案を相手にうまく伝えるために考えることを意識させる。
- ・スキルのポイントを見ながら考えさせるとイメージしやすい。

- ・2を基に、説明の内容や順番、使用する資料などについて箇条書きさせ、提案する準備に活用できるようにする。

探究スキル

相手を意識して自分たちの考えを伝えよう

1.考えてみよう いつ、どこで、誰に、どんなことを伝えませんか？

いつ	〇月〇日の連合町内会	どこで	〇〇集会所
誰に	各町内会長さん	どんなこと	地域で活用してもらおう 防災マップについて

2.考えてみよう 相手にうまく伝えるように考えよう。

相手の人数	6名（1～6丁目の町内会長さん）
相手の目的	・子供の目線で作った防災マップについて知りたい ・地域での活用のしかたについてアドバイスしたい
相手がすでに知っていること	・町内の危険箇所 ・地域で年1回、学校と合同で防災訓練を行っていること ・学校が避難場所であること
相手にどんな気持ちになってもらいたいか	・小学生でも防災の意識が高いことや、地域の力になりたいと思っていることを知ってもらい、おどろいてほしい
発表に使う資料や道具	・防災マップ（地域の地図に危険箇所や避難場所等を書き込んだ物） ・場所を説明するための写真（タブレットを持っていくが、カラー印刷した物）

1 スキルのポイント

相手にうまく伝えるには？

**人数**  
人数に合わせて、相手とのやり取りの仕方や、資料の見せ方を工夫します。

**目的**  
相手が新しいことを知りたい、アイデアを聞いてアドバイスしたいなど、相手の目的によって、話の順番や資料を工夫します。

**知識**  
相手が知っているような説明は省略します。自分たちで考えた言葉や新しい情報は、声と文字で詳しく伝えます。

**気持ち**  
相手に喜んでほしい、問題を共感してほしいなど、相手にどんな気持ちになってほしいかを考えて、話し方や提示する資料を工夫します。

**資料や道具**  
相手が見やすいかどうか、文字や写真の大きさ、色づかいなど、実際の発表に使う道具や環境のもとで工夫します。

3.考えてみよう 相手を意識してどんな工夫ができそうか、**箇条書き**にしよう。

- ・大人が気付かないような危険箇所を紹介する
- ・場所が一目で分かるような写真を用意する
- ・自分たちが作った防災マップの良い点や改善点についてアドバイスをもろう
- ・地域の役に立ちたい思いを伝えるため、自分たちにできることを提案する  
(防災マップを町内の掲示板に貼るとか、防災啓発のポスターを作るとか)

## アドバイザーのコメント

探究スキル【受け手の意識】は、自分の考えを相手に伝える際、相手に考えをより理解をしてもらうために必要なスキルです。受け手である相手を意識して、説明の内容や順序、資料の提示を工夫することが重要です。このワークシートは、プレゼンテーションの構想段階で活用するよりも、資料の作成が進んだ発表前の準備場面で活用するとよいでしょう。